



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
配当金受領株主 確定日	3月31日、9月30日 その他必要あるときは あらかじめ公告して定めた日
定時株主総会 株主名簿管理人及び 特別口座管理機関 同連絡先	毎年6月に開催 三菱UFJ信託銀行株式会社 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 Tel. 0120-232-711 (フリーダイヤル) 東京証券取引所 札幌証券取引所 電子公告によりおこなう (http://www.hokkanholdings.co.jp/)に掲載 いたします。ただし、事故その他やむを得ない 事由により電子公告をすることができないと きは、日本経済新聞に掲載いたします。
上場証券取引所 公告方法	

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



株主優待のお知らせ

毎年3月31日(基準日)現在の株主名簿に記載された株主様に対し、当社グループの容器に入った缶詰を年1回、以下のとおり贈呈いたします。

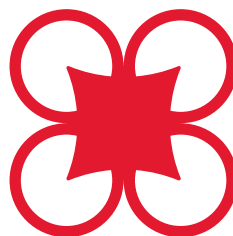
贈呈基準

1,000株以上 5,000株未満
—— 2,000円相当の缶詰詰合せ

5,000株以上 10,000株未満
—— 3,000円相当の缶詰詰合せ

10,000株以上
—— 5,000円相当の缶詰詰合せ

ホッカカンホールディングス株式会社



HOKKAN HOLDINGS



HOKKAN HOLDINGS

ホッカカンホールディングス株式会社

〒100-0005 東京都千代田区丸の内二丁目2番2号
TEL03-3213-5111 (代表)
URL: <http://www.hokkanholdings.co.jp/>



この冊子は環境への配慮のため、ベジタブルオイルインキを使用しています。

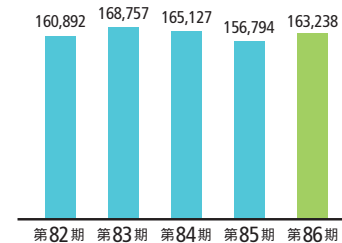


株主の皆様へ

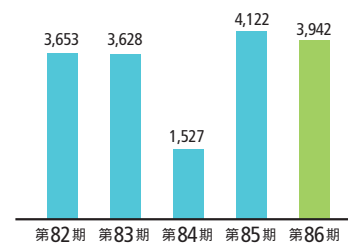
HOKKAN REPORT

第86期 株主通信 Vol.11
2010年4月1日～2011年3月31日

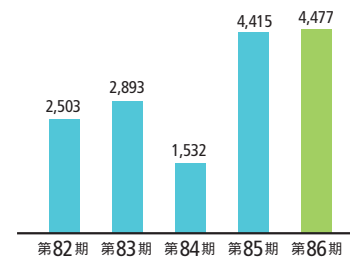
売上高 (単位:百万円)



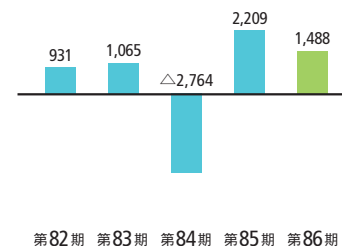
営業利益 (単位:百万円)



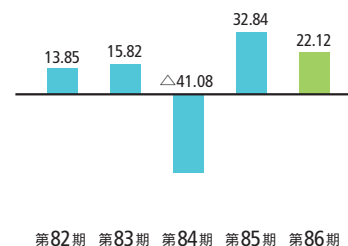
経常利益 (単位:百万円)



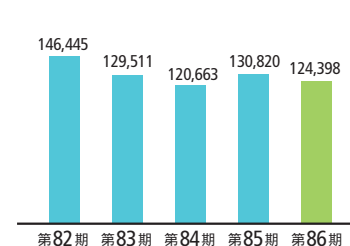
当期純利益 (単位:百万円)



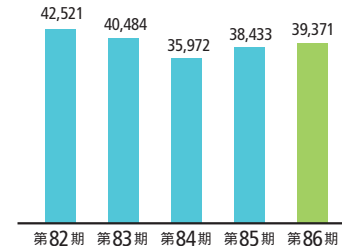
1株当たり当期純利益 (単位:円)



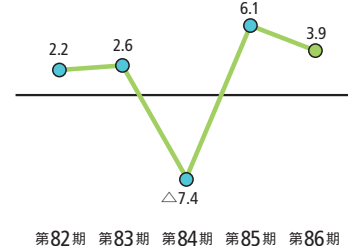
総資産 (単位:百万円)



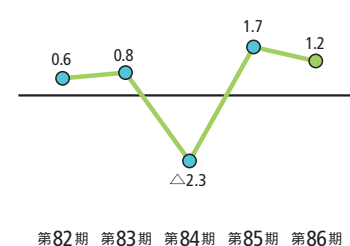
純資産 (単位:百万円)



ROE (単位:%)



ROA (単位:%)



株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、このたびの東日本大震災により被災された皆様にお見舞申し上げます。一日も早い復興を心よりお祈りいたします。

ここに、第86期(2010年4月1日から2011年3月31日まで)の営業概況ならびに計算書類につき、ご報告申し上げます。

 事業の経過および成果

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業業績や個人消費に持ち直しの動きが見られておりましたが、本年3月の東日本大震災の影響により、企業の生産設備の損壊や原材料等の供給不足、計画停電などが発生したため、生産活動が大きく低下することとなりました。

なお、当社グループにおける被害状況につきましては、人的被害はなかったものの、一部事業会社において、たな卸資産の毀損や建物等の損傷が発生し、また、震災後の電力不足や諸資材の入手難等の影響を受けることとなりました。

当連結会計年度における清涼飲料業界の状況につきましては、夏場の記録的な猛暑により、清涼飲料業界全体では前年を上回る結果となりました。これをカテゴリー別にみますと、コーヒー飲料は減少となりましたが、スポーツ飲料が夏場の熱中症対策として需要が大きく増加し、また、炭酸飲料や紅茶飲料につきましても増加となりました。なお、東日本大震災の発生にともない、援助物資となりましたミネラルウォーターや緑茶飲料につきましても大幅に増加いたしました。

容器別では、スチール缶製品は昨年に引き続き前年割れとなりましたものの、ペットボトル製品につきま



代表取締役会長

代表取締役社長

永井勝己 工藤常史

しては前年を上回る結果となりました。

食品缶詰業界の状況につきましては、まず、水産缶詰では、サンマやサバなどの青物製品が、夏場の猛暑による異常気象の影響を受け減産となりました。また、主力のツナ製品につきましても、前年同様、海外からの製品輸入の増加により減産となり、その結果、水産缶詰全体では前年を下回る実績となりました。

農産缶詰につきましては、混合フルーツ缶詰が好調に推移したものの、みかん缶詰等が不作のため減少し、また、スイートコーン缶詰につきましても、猛暑による影響を受け減産となりましたため、農産缶詰全体としては前年を下回る実績となりました。

事業別の概況

容器事業

飲料用スチール空缶につきましては、主力の缶コーヒー分野では、新形状缶の販売効果が寄与し、また、紅茶飲料についても好調に推移しておりましたが、東日本大震災の影響を大きく受けたため、結果としては飲料用スチール空缶全体では前年を下回る販売となりました。

食品缶詰用空缶につきましては、主要販売品目のうち水産缶詰では、サンマなどの青物製品が不漁の影響を受けるなど業界の動向と同様に減産となり、水産缶詰全体では前年を下回る販売となりました。また、農産缶詰につきましても、主力であるスイートコーン缶が、猛暑による減産の影響を大きく受けたため減少となり、食品缶詰用空缶全体では前年を下回る販売となりました。

つぎにプラスチック容器では、飲料用ペットボトル分野におきまして、大型ボトルは減少となりましたものの、280ml、500ml主体の小型ボトルにつきましては夏場の猛暑効果により受注が増加したため、飲料用ペットボトル全体では前年を上回る販売となりました。

無菌充填向けプリフォーム（ボトル成形前の中間製品）につきましては、新設ラインの設置等により、前年を上回る販売となりました。



食品用ペットボトルにつきましては、積極的な営業活動をおこなってまいりましたが、醤油および食用油分野における販売が減少となり、前年を下回る販売となりました。

一般成形品につきましては、化粧品関連製品が新規取引先を獲得するなど順調に推移しておりましたが、農薬園芸製品が猛暑の影響により落ち込む結果となり、一般成形品全体としては前年を下回る販売となりました。

エアゾール用空缶につきましては、前年と同様に自動車用品や工業用品、塗料などが減少となりましたが、染毛剤や殺虫剤、消臭剤が好調でありましたため、全体としては前年を上回る販売となりました。また、美術缶につきましても、贈答用品の低迷や、お客様による他の包材への変更が一部進みましたが、当社グループにおきましては、新製品を受注するなど、前年を上回る販売となりました。

以上の結果、容器事業全体の売上高は、510億90百万円と前年度に比べ3.1%の増加となりました。

充填事業

缶製品につきましては、炭酸製品やリシール缶（ボトル缶）製品が好調に推移しましたが、主力の缶コーヒーで大きく減少となりましたため、缶製品全体では前年を下回る販売となりました。

ペットボトル製品につきましては、大型ペットボトル製品では、当社グループにおける充填ライン更新のためのライン停止の影響により、前年割れの結果となりましたものの、小型ペットボトル製品では、新設ラインの稼働により、新規受注の獲得や猛暑効果によるスポーツ飲料や紅茶・緑茶飲料等の増加により好調に推移したため、ペットボトル製品全体では前年を上回る販売となりました。

以上の結果、充填事業全体の売上高は、1,100億44百万円と前年度に比べ4.4%の増加となりました。

機械製作事業

機械製作部門につきましては、製缶ライン改造工事や、プラスチックボトル用ブロー金型の受注に加え、自動車用クラッチ板の省力機械や液体小袋充填機も新規に受注するなど、機械製作部門全体としては前年を上回る結果となりました。

エンジニアリング部門では、化成品容器事業向けプラスチックボトル成形ラインの設備工事や、前年に引き続き充填事業向け新工場建設などを受注するなど、前年を上回る結果となりました。

以上の結果、機械製作事業全体の売上高は、21億3百万円と前年度に比べ12.8%の増加となりました。

以上により、当連結会計年度における内部売上を消去した連結総売上高は、1,632億38百万円と前年度比4.1%の増加となり、経常利益は44億77百万円

（前年度比1.4%増）、当期純利益は14億88百万円（前年度比32.6%減）となりました。

対処すべき課題

当社グループでは、当連結会計年度が平成18年に策定いたしました中期経営計画（5ヵ年計画）「NEXT-5」の最終年度でありましたが、グループをあげて数値目標の達成に取り組んだ結果、その目標をほぼ達成することができました。

来期の国内経済の見通しにつきましては、この度の東日本大震災による景気の下振れリスクは大きく、また、電力総量規制による夏場の電力不足による生産活動に対する影響も予想され、先行きは厳しいものと思われます。

そのような環境のもと、当社グループでは、本年4月より新中期経営計画「ACTIVE-5」がスタートいたします。「既存事業の持続的成長」と、「新たな事業展開への挑戦」に向けて「ACTIVE＝活動的、積極的であること」を行動指針として今後の更なる成長を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援をたまわりますようお願い申し上げます。

ホッカンホールディングスは グループ事業会社全体の力を統合し、 さらに高いレベルの「ものづくり力」を追求します。

当社は持株会社として、各事業を強化するとともに、グループ企業とのアライアンスの発展を図ってまいります。

そして、“最大より最高”をモットーに、品質と価格の両面を併せ持つ「ものづくり力」を高めてまいります。



「ホッカンエバークリーン」は、同社のルーツである北海道の大地を象徴する緑、永遠の若さ、生命力を表しています。

容器製造／販売

食品用、飲料用などの空缶、ペットボトルなどのプラスチック容器の開発、生産、販売など幅広くおこなっています。

北海製罐株式会社

昭和製器株式会社 日東製器株式会社
東都成型株式会社

2011年3月期
売上高 **51,090** 百万円

充填

大手ブランドの飲料を空缶やペットボトルに充填する受託充填企業です。調合から物流までを請け負う総合力を持っています。

株式会社日本キャンパック

株式会社西日本キャンパック
日本キャンパック・マレーシア
キアンジュ・キャンパック・ベトナム

2011年3月期
売上高 **110,044** 百万円



「キャンバックアクアブルー」は、良質の水に恵まれた工場を持つ同社のメリットから、品質と潤いを表しています。

機械製作

北海製罐株式会社や株式会社日本キャンパックで使用する超精密度の金型から製造機械、総合一般の製造ラインまで提供する機械メーカーです。

オーエスマシナリー株式会社

2011年3月期
売上高 **2,103** 百万円



「オーエスプレシジョンオレンジ」は、超精密度を追求する同社の各種金型と各種製造機械の安全性を表しています。



グループ会社それぞれの力を結集し、 高レベルな「ものづくり力」を追求

「ものづくり力」。それは、工場だけを指すものではありません。今日のように高度化・複雑化した容器業界や食品業界においては、ユーザー1社1社のニーズを的確に把握する“販売体制”はもちろん、需要に迅速に対応できるとともにコスト低減を図れる“生産体制”、そして独自の提案を行える“技術開発体制”が不可欠です。これらが一体となって初めて、ユーザーの期待に応えられる、真のものづくり力といえます。

ホッカンホールディングスは、これからもグループの総力を挙げて、容器事業、充填事業、機械製作事業すべての技術とノウハウを結集し、皆様の期待に総合力とスピード感をもって、最大の満足と効果を提供すべく取り組んでまいります。



(株)日本キャンパック
赤城工場



北海製罐(株)
小樽工場
(昭和製器)



オーエスマシナリー(株)
小樽工場

ホッカンホールディングス 本社と各社工場

ホッカンホールディングス(株)

東京都

(株)日本キャンパック

群馬県

第一工場

第二工場

赤城工場

利根川工場

岐阜県

西日本キャンパック

マレーシア

日本キャンパックマレーシア

ベトナム

キアンジュ・キャンパック・ベトナム

北海製罐(株)

北海道

小樽工場(昭和製器(株))

群馬県

明和工場(日東製器(株))

千代田工場

館林事業所

東都成型(株)

埼玉県

岩槻工場

中央研究所

(株)ワーク・サービス

滋賀県

滋賀事業所

オーエスマシナリー(株)

北海道

小樽工場

群馬県

群馬工場

連結貸借対照表 (要旨)

(単位:百万円)

科 目	第86期 2011年3月31日現在	第85期 2010年3月31日現在
資産の部		
流動資産	43,710	49,267
現金及び預金	3,968	1,800
受取手形及び売掛金	23,429	35,962
電子記録債権	4,031	—
たな卸資産	9,105	7,803
繰延税金資産	844	760
その他	2,361	2,967
貸倒引当金	△29	△26
固定資産	80,687	81,552
有形固定資産	63,919	65,143
建物及び構築物	21,130	22,337
機械装置及び運搬具	21,024	25,549
土地	15,873	15,895
リース資産	729	404
建設仮勘定	4,795	395
その他	365	560
無形固定資産	869	648
投資その他の資産	15,897	15,760
投資有価証券	13,140	12,988
繰延税金資産	664	605
その他	2,170	2,260
貸倒引当金	△77	△94
資産合計	124,398	130,820

科 目	第86期 2011年3月31日現在	第85期 2010年3月31日現在
負債の部		
流動負債	49,084	66,733
買掛金	27,682	30,482
短期借入金	13,205	29,963
リース債務	345	139
賞与引当金	723	685
災害損失引当金	400	—
その他	6,726	5,463
固定負債	35,942	25,652
長期借入金	32,163	22,169
リース債務	583	382
繰延税金負債	50	30
退職給付引当金	2,426	2,776
その他	718	293
負債合計	85,026	92,386
純資産の部		
株主資本	38,006	37,024
資本金	11,086	11,086
資本剰余金	10,750	10,750
利益剰余金	16,192	15,208
自己株式	△22	△21
その他の包括利益累計額	220	333
その他有価証券評価差額金	214	332
繰延ヘッジ損益	6	1
少数株主持分	1,144	1,075
純資産合計	39,371	38,433
負債純資産合計	124,398	130,820

連結損益計算書 (要旨)

(単位:百万円)

科 目	第86期 2010年4月 1 日から 2011年3月31日まで	第85期 2009年4月 1 日から 2010年3月31日まで
売上高	163,238	156,794
売上原価	147,104	140,643
売上総利益	16,134	16,151
販売費及び一般管理費	12,192	12,029
営業利益	3,942	4,122
営業外収益	1,273	1,212
営業外費用	738	919
経常利益	4,477	4,415
特別利益	36	8
特別損失	2,030	1,092
税金等調整前当期純利益	2,482	3,331
法人税・住民税及び事業税	979	181
法人税等調整額	△63	862
法人税等合計	916	1,043
少数株主損益調整前当期純利益	1,566	—
少数株主利益	78	77
当期純利益	1,488	2,209

連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位:百万円)

科 目	第86期 2010年4月 1 日から 2011年3月31日まで	第85期 2009年4月 1 日から 2010年3月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	18,451	7,497
投資活動による キャッシュ・フロー	△8,830	△11,744
財務活動による キャッシュ・フロー	△7,453	3,256
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	2,167	△990
現金及び現金同等物の 期首残高	1,800	2,791
現金及び現金同等物の 期末残高	3,968	1,800

連結株主資本等変動計算書 (要旨)

第86期(2010年4月1日から2011年3月31日まで)

(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	その他の 包括利益 累計額合計		
前 期 末 残 高	11,086	10,750	15,208	△21	37,024	332	1	333	1,075	38,433
当 期 変 動 額										
剰 余 金 の 配 当			△504		△504			—		△504
当 期 純 利 益			1,488		1,488			—		1,488
自 己 株 式 の 取 得				△1	△1			—		△1
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					—	△117	5	△112	68	△43
当 期 変 動 額 合 計	—	—	983	△1	982	△117	5	△112	68	938
当 期 末 残 高	11,086	10,750	16,192	△22	38,006	214	6	220	1,144	39,371

会社概要 (2011年3月31日現在)

商号	ホッカンホールディングス株式会社 HOKKAN HOLDINGS LIMITED
本社設立	東京都千代田区丸の内二丁目2番2号 丸の内三井ビル TEL03-3213-5111 1950(昭和25)年2月1日(創立 1921(大正10)年10月23日)
資本金	110億8,652万4,995円
従業員数	22名
事業内容	(1)各種空罐、容器の製造販売 (2)清涼飲料水・酒類その他各種飲料の受託充填及び販売 (3)各種機械の製造販売 (4)機械器具設置工事業 (5)倉庫業 (6)土木・建築工事の設計、施工請負

役員 (2011年3月31日現在)

取締役会長(代表取締役)	永井勝己
取締役社長(代表取締役)	工藤常史
専務取締役	田村秀行
取締役	木村修二
取締役	山崎節昌
取締役	池田孝資
取締役	小池明夫
常勤監査役	酒井公平
監査役	寺嶋勉
監査役	増田嘉一郎
監査役	新名孝信



株式の状況 (2011年3月31日現在)

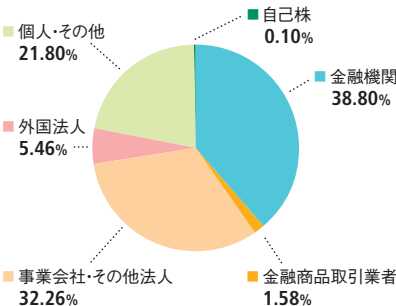
発行可能株式総数	240,000,000株
発行済株式の総数	67,346,935株
株主数	5,217名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社トーモク	5,926	8.81
日本生命保険相互会社	3,274	4.87
株式会社みずほコーポレート銀行	3,273	4.87
ホッカンホールディングスグループ取引先持株会	2,400	3.57
株式会社メタルワン	2,267	3.37
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,246	3.34
農林中央金庫	2,000	2.97
東京海上日動火災保険株式会社	1,805	2.68
株式会社北海道銀行	1,765	2.62
JFEスチール株式会社	1,565	2.33

(注)持株比率は自己株式(65,054株)を控除して計算しております。

所有者別分布状況



ホームページのご案内

●ホームページアドレス

<http://www.hokkanholdings.co.jp/>

当社のホームページでは株主・投資家の皆様に対して、企業情報や財務情報をはじめとして、当社の事業活動や動向を紹介しております。
当社をよりご理解いただくためにも、是非アクセスしてください。

